

文教厚生常任委員会資料
2022年(令和4年)6月22日
こども局こども育成室

市立幼稚園の幼稚園型認定こども園拡充について

1 幼稚園型認定こども園(モデル園)の運用開始

市立幼稚園については、待機児童の状況を踏まえ、活用が重視される「小規模保育事業所」の連携先としても市立幼稚園の役割が高まっており、幼稚園としての利点を生かしながら、利用者の利便性向上を図るため、幼稚園型認定こども園化(3歳～5歳児)を進めています。

2022年(令和4年)4月からは、市立幼稚園のモデル園2園を幼稚園型認定こども園として認定し、運用を開始しています。

「幼稚園型認定こども園」の認定を受けることによる主なメリット

- (1) 市立幼稚園の就労枠が、「幼稚園型認定こども園」の2号認定(一般枠が、1号認定)となります。保育所と幼稚園を併願する方は、2種類の申し込みをされていましたが、これにより「保育施設申込」に一本化されます。
- (2) 預かり保育の場合、夏休み等の長期休業中の利用は、就労枠も一部有料となっています。幼稚園が認可保育施設となり、2号認定となれば長期休業中も無償となります。
- (3) 認定こども園の特長として、保護者の就労状況の変化に関わらず利用が継続できるようになります。

2 モデル園の拡充(令和5年度)

先行するモデル園の4月、5月において、充実した園生活が実施できていることから、令和5年度も新たにモデル園を拡充します。

モデル園の選考にあたっては、保護者等への説明を行って選定し、疑問点や意見等をいただきながら丁寧に進めます。

令和4年度 第1期モデル園 2園(大久保南幼稚園、二見北幼稚園)
令和5年度 第2期モデル園 3園(予定)

3 今後の予定

今後は、モデル園の検証を行いながら、市立幼稚園全園の幼稚園型認定こども園移行を実施していく予定です。